

名古屋市立 中央看護専門学校 講堂



所在地：愛知県名古屋市東区葵1丁目4番7号
 構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上8階地下1階建
 敷地面積：2,213.48㎡
 建築面積：1,171.15㎡
 延床面積：9,765.36㎡
 講堂面積：585.14㎡
 設計工事監理：名古屋市住宅都市局
 建築設計：斉藤建築士事務所
 設備設計：(株)MURA設備設計事務所
 建築工事：(株)ケイテック
 電気工事：カワギ電気(株)
 更新完成：2015年2月末

S332

開校から40年を迎える名古屋市立中央看護専門学校では、講堂の天井等落下防止対策に伴う照明改修を行い、省エネ、省メンテナンス、省CO₂を実現するLED高天井器具にリニューアルしました。

地域の保健・医療・福祉に貢献する 人材を育成する看護専門学校

名古屋市立中央看護専門学校は、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献できる看護実践者を育成することを目的に昭和50年に開校しました。働きながら学ぶことができる定時制の看護学校としては全国初の発足でした。平成7年には全日制の看護学科を加えて2科体制になり、今日に至っています。歴史に培われた質の高い教育体制、きめこまやかな指導に定評があります。このたび築35年の校舎の7階部分に設けている講堂の照明器具をLED化しました。

講堂の天井等落下防止対策で照明を LED高天井器具にリニューアルし、 大幅な省エネと省メンテナンスを実現

講堂はスポーツ利用のほか講演や式典などにも使用するため、音響などを考慮して天井材も新たに設置しておりましたが、照明器具は躯体から吊下げ、天井材と分離しました。地震など万一の際に応力の分断が図られ、照明ボックスとグレア防止の拡散カバー付下面ガードに落下防止のワイヤーを付けることで安全性を高めています。

既存の照明は400Wメタルハライドランプ器具2灯と150W投光用ランプ器具2灯をセットで20台使用していましたが、改修に当たり1kWメタルハライドランプ器具と同等以上の明るさで省エネ性能に優れたLED高天井器具(消費電力316.2W)を採用。船底天井の中心(天井高8m)から左右2台ずつ、既存と同じ位置に対向配置で均等に5列設置しました。眩しさを防止する拡散カバー付下面ガードによって快適な照明空間をつくります。年間消費電力は約54%の削減となり、調光が可能で点灯回路を2台ずつに分けていることで利用状況によって明るさ調整できるため一層の省エネが図られます。さらに60,000時間の長寿命でメンテナンスコストの軽減も実現しています。

このほか舞台照明には奥に直管形LEDベースライト(ルーバー付埋込形)を6台、手前にLEDユニバーサルダウンライト(電球色)を7台×2列設置しています。調光機能も付いているため、利用目的によって様々な照明演出を可能にしています。



LED高天井器具を均等配置した改修後の講堂全景(入口から舞台側を望む)



HID400W器具と150W投光用器具設置の改修前の講堂



LED高天井器具を採用した改修後の講堂(舞台サイドから入口を望む)



講堂の横から望む改修後のLED照明



舞台照明に直管形LEDベースライト(調光20~100%)、LEDユニバーサルダウンライト(調光5~100%)を採用

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
講堂	LED高天井器具(拡散カバー付下面ガード)	LEDJ-40045N-DJ2	20	LED 平均消費電力：316.2W
	直管形LEDベースライト	LER-42478K-LD9	6	LED 平均消費電力：38.5W
	LEDユニバーサルダウンライト	LEDD-10102W-LD9	14	LED 消費電力：22.2W